

156 アガリ武士の力比べ (イ)

アガリーブシ (東江武士) といっていたらしいですよ。それはね、日本本土から来た人と力試し、試合をやったらしいよ。井戸のほうでやったらいいよ。それでね、本土から来る人はみんな剣を持って行ったらいいよ。

本土から来た人がね、名前が、佐太郎という人であつたらしい。その人が来てね、アガリーブシと試合に来たらしい。アガリーブシといったら非常に小さいからね。小さい人だからね、子どもみたいに考えていたらいい。小さくなつて見えたり、大きくなつて見えたり。それで、井戸のところに来たらね、

「この井戸はね、ちよつと何だかね、こつちには剣はもって入っては行けない」と言つたらいいよ。だから、みんな上のほうへ行つて中に入ったらね、武士がね、よく切れる剣を一つ選んで、出てくる物はみんな切り捨てて。そのため、日本の本土から来た武士たちは

ね、負けてしまつてね、こつちのほう向いたら山があります。ヒータチ山 (火立て山) というところに山が。それでもうはつきりしてたことはわかつておる。

字宇江城 神谷亀栄

類話

字宇江城 伊礼カメ

